

交通ちば



VOL. 410 平成24年7月1日

千葉県交通安全活動推進センター
公益財団法人 千葉県交通安全協会

平成24年 夏の交通安全運動

期 間 7月20日(金) から7月31日(火) までの12日間

目 的 夏休みに入るこの時期は、子どもたちや若者の解放感から起こる事故や、夏の行楽シーズンに伴う交通量の増加などによる事故の発生が懸念されます。そこで、「事故を起こさない」だけでなく「事故に遭わない」ためにも、県民一人ひとりが交通ルールの遵守と交通マナーを実践し、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

スローガン 車にも 乗せようマナーと 思いやり

重点目標



1 子どもと高齢者の交通事故防止

- ・夏休み前の子どもに対する交通安全指導の徹底
- ・高齢者自身による身体機能の変化を認識した安全行動の実践及び高齢者に対する保護活動の徹底
- ・道路利用者に対する「3(サン)・ライト運動」の実践
- ・早朝や夕方、夜間外出時における反射材用品等の活用の促進

2 自転車の安全利用の推進

3 飲酒運転の根絶

【主唱 千葉県交通安全対策推進委員会】

3(サン)・ライト運動 実施中!!

① ライト(前照灯) : 早めのライト点灯、小まめな切り替え

② ライト・アップ(目立つ) : 反射材、LEDライト等の活用

③ ライト(右) : 右からの横断者にも注意

「3(サン)・ライト運動」を推進して交通事故を防止し、太陽(サン)のように明るく、幸せな人生を送りましょう。



千葉県警察本部交通部

2012 二輪車安全運転千葉県大会 (第42回 ベストライダーコンテスト)

二輪車の安全運転とマナーの向上を目指す「2012 二輪車安全運転千葉県大会(第42回ベストライダーコンテスト)」(主催「公財」千葉県交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会、後援「県・県警・県教育委員会など」)が5月26日、千葉市の運転免許センターで行われました。「ベスコ」の愛称で二輪愛好者に知られる本大会に参加したのは40人。一本橋走行、ブロックスネークなどの課題に熱心に取り組みました。上位入賞者の中から選ばれた4人が8月に三重県鈴鹿サーキットで行われる全国大会に出場する予定です。



コンビネーションスラローム



白バイ隊員を先頭に四輪コースを走る



応用千鳥足走行



ブロックスネーク



新法人になって最初の定時理事会



祝賀会で活動を称えられ記念品を贈られた皆さん

平成24年度定時理事会を開催
(公財)千葉県交通安全協会は6月7日、千葉市内のホテルで平成24年度定時理事会を開催しました。会議の冒頭で挨拶に立った榛澤芳雄副会長は、事故死者13年連続減少と、アンダー1170という目標を掲げているが厳しい状況になっているので、一層の活躍をお願いしたい、と述べました。

続いて来賓として出席した県警本部の村上徹交通部長が挨拶に立ち、公益財団法人に認定されたことに敬意を表わし、今後も交通事故防止活動の中心的存在として活躍してほしい、と激励しました。

祝賀会では、来賓として出席した県警の鎌田聡本部長と県環境生活部の戸谷久子部長から御祝辞をいただきました。

会議後は、今年1月の第52回交通安全全国国民運動中央大会で交通安全栄誉章等を受賞した方々を招いての記念品贈呈式が行われ、16人が出席し壇上で祝いの品を受け取りました。

会議の議題は、平成23年度の事業報告と収支決算報告などの審議で、事務局から詳細な説明があり、慎重な審議の結果承認されました。

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会ボランティア活動に活用されています。



印西 北総花の丘公園でシートベルトの衝撃体験をする。



行徳 塩焼小で式秀部屋の力士が参加し自転車教室を開催。



千葉中央 新宿、大森、登戸小学校で安全教室を開催し啓発する。



東金 片貝小学校で自転車の安全な乗り方教室を開催する。



浦安 日の出小学校の1年生に傘の安全な使い方を指導する。



千葉東 ラパーク千城台前で自転車安全利用の広報活動を行う。



茂原 東部小学校で自転車の安全な乗り方教室を開催する。



松戸 運動公園体育館でこども自転車県大会予選を開催する。



千葉西 幕張西小学校で通学路を使い実地指導を行う。



勝浦 保育所・幼稚園8か所で交通安全教室を開催する。



松戸東 大勝院幼稚園で交通安全教室を開き啓発する。



習志野 新栄幼稚園で保護者も参加して交通安全教室を開く。



市原 八幡地区のスーパーで啓発物を配り無事故を訴える。



佐倉 八街市泉台区民センターで高齢者の安全教室を開く。



鎌ヶ谷 道野辺、西部、北部小学校で自転車安全教室を開く。

旭交通安全協会



浪川輝男会長

浪川会長の話

「新年度、市長から辞令をもらい、最初の仕事として春の全国交通安全運動に臨みました。旭警察署で出勤式を行った後、警察署の前、飯岡、海上、干潟の4地点の道路で啓発物を配り、街頭啓発活動を行いました。4月6日から10日間、新入学児童の登下校時の保護誘導活動を行いました。年間を通じての大きな事業としては、保育園、幼稚園、小・中学校での交通安全教室の開催があります。続いて、飯岡漁港水産祭り、各地区の夏祭り、飯岡YOU遊フェスティバルの花火大会、旭七夕祭り（8月6・7日）、秋の全国交通安全運動と平行して、旭いきいき祭り（産業祭り）、干潟産業祭り、海上の産業祭りがあります。この会場で「エアバッグの爆破実験」を実演しています。車の運転席に人形を座らせ、衝突を想定し、エアバッグを作動させます。衝撃は大きいのですが、エアバッグが事故から身を守ることを見て、その事前策としてシートベルトの着用



山本詠子さん、金山朱実さん、石井洋子事務局長

の大切さを理解し、納得して帰ります。その他、年間を通じての活動はまだまだたくさんあります。交通安全協会役員全員が市の交通指導員になって活動しています。市との緊密な連携のもとに、警察の指導をいただきながら本部役員6名、10支部で活動を行っています。地域の皆さんのため、これからも頑張ります。」

石井事務局長の話

「事務局窓口が警察署玄関に入っすぐ右にありますので、明るく親切な対応を心掛けています。会長さんもおっしゃるとおり4つの行政区があり、歴史もあるのでお祭りや行事がたくさんあります。裏方として交通指導員が活動しています。交通指導員が活動しやすいよう支えていきたいと思っています。交通安全協会の活動の重点である広報啓発活動にも力を入れていきたいと思っています。」

交通指導員 5月の活動状況

5月中の県内各地の交通安全協会の交通指導員と地域交通安全活動推進委員の出動回数と出勤人員は次のとおりです。

○自転車教室	148回	512人	○出動回数総数	102回	5848人
○駐車対策	26回	145人	○出動人員総数	102回	5848人
○安全教室	26回	145人	○各種イベント等	29回	163人
・児童	267回	942人	○街頭監視	314回	2138人
・一般・高齢者	24回	97人	・街頭広報	71回	180人
○祭礼警戒			○会議・研修会等	2回	63人
○街頭活動	80回	303人	・チャイルドシート・シートベルトの着用指導	22回	107人
○各種イベント等	29回	163人	・街頭監視	314回	2138人
○街頭広報	71回	180人	・街頭監視	314回	2138人
○各種イベント等	29回	163人	・街頭監視	314回	2138人
○会議・研修会等	2回	63人	・街頭監視	314回	2138人

交通安全ファミリー作文募集

- 応募期間 平成24年7月1日～9月10日（当日消印有効）
- 応募区分
 - ①小学生の部 ②中学生の部 ③一般（高校生以上）の部
- 応募方法 未発表のもので、自作のもの。一人1作品。1200字（400字詰め原稿用紙3枚）程度。電子メールも可。Microsoft Wordを使用。1枚当たり縦書き20字×20行で作成。件名を「24交通安全ファミリー作文」とする。
- 小学生の部及び中学生の部
 - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③郵便番号・住所
 - ④氏名（ふりがな） ⑤性別 ⑥学校名 ⑦学年 ⑧郵便番号・学校所在地・電話番号
- 一般（高校生以上）の部
 - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③郵便番号・住所
 - ④氏名（ふりがな） ⑤性別 ⑥年齢 ⑦職業等 ⑧電話番号
 - ⑨応募の動機（ポスター・チラシを見て等）
- 送り先 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-9-9 阿波座パークビル 701 (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」 電話 06-6586-6227 メールアドレス sakubun@kaifusha.co.jp
- 主催 内閣府、財団法人全日本交通安全協会、公益財団法人三井住友海上福祉財団、一般財団法人日本交通安全教育普及協会

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス <http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉県美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って つながる笑顔

